

# 指導と評価の年間計画（シラバス）

1 学年共通

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位
年次	1 年次	学科・コース	海洋科・情報通信科・食品工学科		
使用教科書		日本文教出版 高校生の美術 1			
副教材等		授業で配布するもの			

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術活動を通して、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、生涯美術を愛好する心情を育てる。楽しんで制作活動に取り組むことを大切にする。

得意・不得意やうまい・下手ではなく、自分を表現する手段のひとつとして納得いく作品作りを目指す。

## 2 学習評価（評価規準と評価方法）

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
観点	<b>知識・技術</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポート、作品	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポート、グループ討議・発表	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポート、グループ討議・発表 ・質問・提案・自己評価、相互評価等
学習のまとめ（単元等）ごとに、上に示す観点に基づいて、評価規準を設定し、A（十分満足できる）、B（おおむね満足できる）、C（努力を有する）の3段階で評価します。また、それらの評価を基に学年末に5段階の評定にまとめます。そのために学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

## 3 年間の学習計画等

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	● トーン作り ● デッサン ● 彫刻 ● エコバッグ制作	形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表す。	身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。	身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。

2 学 期	●デザイン・レタリング	造形の要素の働きを理解し、デザインされたものの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する。	目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	デザインの鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
	●陶芸	形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージなどを捉え、粘土の材料の特性を生かして表す。	対象から感じ取ったイメージなどを基に、形や質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。	粘土で表す創造活動に、主体的に取り組む。
3 学 期	●美術鑑賞・作品鑑賞 ●和菓子レプリカ制作 ●デッサン	造形の要素の働きを理解し、絵画における造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などを自分なりに捉えることを理解する。  作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。	絵画の造形的なよさや美しさを感じ取り、それが自己の体験や価値観などから生じることに意識的になり、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。  複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞する。	絵画の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組む。  作者の視点に着目して、表現の意図や工夫を読み取り鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。

※上記の内容は授業の進捗によって変更される場合があります。